

あけびだより

No. 205

2021年12月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和3年12月



絵画教室

木下素子 氏

あけびの訪問看護とは

11月1日より訪問看護の事務所が移転しました。慣れない設備や、訪問コースの変化で戸惑う場面もありましたが、通常業務に支障もなく無事1か月が経とうとしています。この、新たな新境地で今一度、訪問看護師として、また、あけびの医療従事者としての役割を考えてみようと思います。

「病気や障害があっても、住み慣れた家でくらしたい」「人生の最後を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。でも、「家族だけで介護や医療的ケアが出来るのだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫?」と不安に思う方もおられることでしょう。そんな時、訪問看護師は在宅ケアサービス提供者の一員として在宅療養を支えます。訪問看護の強みは、地域で暮らす方々に、関係職種と協力しあって、一人ひとりに必要な支援が行えるところです。

訪問看護ステーションあけびも、難病を抱えながら在宅生活を送る方の為に開設されました。ディサービスで困って居られる利用者の相談から始まり、徐々に利用者さん宅への訪問と広がっていきましました。里の入居が始まってからは、入居者の生活全般を見据えて支援させて頂くようになりました。患者さんをまじかで見ること、在宅生活の状況を把握することができ、よい経験になりました。来年2月には、5年を迎えようとしています。様々な出来事や出会いと別れがあって、その一つ一つが私たちの財産となり、今に繋がっています。

2月に、「難病と在宅ケア」という雑誌に「在宅のパーキンソン病患者を支える看護実践～アセスメント・ケア・心構え」森ノ宮大学の岩佐教授との共同研究の内容が掲載されます。

これは、あけび全体の看護師の関りが形になったものです。

パーキンソンの治療で大きく挙げられるのは、薬物療法とリハビリです。あけびの理学療法士が、しっかりとそれを補ってくれています。薬物療法については、看護師が直接処方をするわけにはいきませんが、在宅での状況を知る看護師が医師と連携し薬調整が出来るように働きかけています。

非運動症状(精神障害・睡眠障害・行動障害・自律神経障害)については目に見えにくい部分ではありますが、しっかりと観察及び予測をたて支援していかなければならないと強く感じています。

看護師や理学療法士の訪問スタッフは、医療従事者としての経験や知識はもとより、人として様々な関わり方や精神的な配慮が出来るように、寄り添った支援を目指します。

それに加え、「神経難病のスペシャリスト」であるように日々精進致します。

皆さまが安心して在宅生活が送れますように支援していきますので、これからもどうぞよろしく願いします。(S/M)

認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

〒672-8064飾磨区阿成植木836番地A号

TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765

Mail: houkan@akebi.or.jp

訪問介護ステーションあけび

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実



★お誕生会

11月のお誕生会は"スイツタイム"のミニコンサート。三人の方が来てくださいました。念願だった文化センターへの出演を実現されたそうです。おめでとうございます。

マスク装着でしたが素敵な歌声を聴かせていただき、皆さんうっとり聞きほれ、楽しませていただきました。1年半前にはご自身がボランティアで回っておられたMさん。思い出して複雑な気持ちになったと涙ぐんでおられました。



★書道教室

遠方からS先生に来ていただきました。お手本もたくさん書いて下さり皆さん少し緊張されながらも集中した時間を過ごせました。

★紅葉お出掛け

暖かい日の午後から名古屋山へお出掛けしました。イチョウや紅葉も見事に紅葉し快晴の空の下、鯉の餌やりや散歩も気持ち良かったです。晴れ晴れとした皆さんの笑顔が印象的でした。自然に癒された時間でしたね。



★避難訓練

午後から避難訓練を行いました。キッチンからの出火という想定でしたが職員の誘導で転倒に注意しながら落ち着いて無事に全員屋外へ避難することができました。いざという時のために訓練は大切ですね。

★輪投げ

輪を投げる動作は腕から膝にかけて、全身を使う立派なりハビリです。オフになっても頑張って遠く離れた点数を狙う姿には感銘を受けます。点数が入ると「すごーい！」と歓声が上がっていましたよ。

★名カメラマン・

趣味歴27年目です。出産を機に始めました…現在はあけびの実の利用者様がモデルです。(プロみたいでしょう!! あけびだよりの名場面は彼女の力作です)



★12月壁面制作

今月はクリスマスツリーです。毛糸で鎖編みをい願うと手慣れた手つきであっという間にながーい鎖編みが完成し、かわいいツリーの飾りが完成しました。今回はアルミホイルや毛糸も使いましたよ。「昔はセーターとかよく編んだわあ」と言われていました。さすがです!

★三行手紙

佑斗へ
寒くなってきたね。

元気で学校へ行っていませんか。じいじは一人カラオケをしています。

お正月には佑くんと一緒にカラオケできるのを楽しみにしているよ。風邪を引かないように。ガンバレー! 「豊じいじより」



★何がしたいですか？とお聞きしたところ、お寿司が食べたい！！とお声が。それならばと、**寿司パーティー**をしました。美味しいお寿司をいただくのはもちろん嬉しいですが、皆さんでワイワイ好きなネタを選んで注文し、その日が来るのをワクワクして待つことが、もっと楽しいですね！



★卓球は、一種の有酸素運動であり、目と手の協調関係や反射を向上させ脳に刺激を与えます。パーキンソン病の様々な症状に有意な改善がみられるとの研究結果があります。皆さんも卓球に挑戦してみませんか？



★紅葉 名古屋の紅葉見学にお出かけされました。青空に银杏の黄色がキラキラと映えて、とても美しかったです。その帰り道、ケーキを買ってお茶会をしました。とても美味しく身も心も満足した一日になりました。



★スポーツの秋です！あけびの輪秋の運動会を開催しました。紅白に分かれて“送り物競争”“新聞紙で徒競走”を戦い、曜日対抗玉入れ合戦もしました。皆さん、負けん気いっぱいハッスルされました。曜日対抗玉入れ合戦は、金曜日が99個で優勝され優勝カップを獲得されました。

あけびの輪



★歌謡ショー ボランティアグループ“虹色の風”の皆さんによる『歌謡ショー』が開催されました！！懐かしの昭和歌謡に楽しいトーク、皆さんの若い頃を思い出しノリノリで楽しめました♪ スタッフの飛び入り参加もあり、大いに盛り上がりました。今月のスタッフ手作りケーキは、洋ナシのケーキ！ケーキ屋さんのより美味しいと大好評です！

★ご家族からの手紙

- ・手作りのケーキやおはぎを頂き、本当に家庭的で楽しそうです。主人も帰ってから嬉しそうに話してくれます。
- ・食事はだいぶ味もわかってきているようで副菜全量摂取は嬉しいです。（歯の調子が悪く食べられない期間がありました）歌謡ショー楽しかったようです。



在宅のパーキンソン病患者を支える看護実践

～アセスメント、ケア、心構え～

岩佐 由美

森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科

鈴木美代子・岡野紀美子・木村香里

認定特定非営利活動法人 あけび

1. はじめに

パーキンソン病 (PD) は進行性の変性疾患で日本では難病に指定されている。多くは加齢に伴い発症し、高齢化により患者数は増加傾向にある。患者は無動 (運動緩慢)、振戦、筋強剛、姿勢保持障害などの運動症状に加え、睡眠障害、気分障害、自律神経障害、感覚障害などの非運動症状を生じ、治療にはL-Dopa製剤を中心とする薬剤による対処療法があるものの根治治療はない。PD患者が快適な療養生活を送るためには、きめ細かな看護ケアが欠かせないといえるが、患者の症状は一般の高齢者の加齢性変化と区別がしにくいものも多く、看護師であっても疾患や症状を十分に理解してケアを行うことは容易ではない。

2015年の難病の患者に対する医療等に関する法律の基本方針では、難病患者が地域で生活していくために難病の正しい知識を持った医療従事者等を要請することが示された。地域包括ケアシステム開始により、在宅で療養する患者数も増加が見込まれ、自宅で過ごすPD患者を支えるための看護ケアは今後さらに重要となると予測される。そこで本研究では、在宅のPD患者に対する看護経験が豊富な看護師がどのようなケアを実践しているかを分析し、より効果的なケアと患者理解に示唆を得るための調査を行った。

(難病と在宅ケアVol.27No11) より、はじめにの部分を掲載させていただきました

上記の内容で、岩佐先生が2か月をかけて、あけびの看護師とともにPD患者の看護専門性の向上と看護の共有を目指して、調査を行われました。{「アセスメント」「ケア」「心構え」の三つから明らかにしたが、イギリスでは、すでに、1989年からPDの専門看護師が活動を開始し、諸外国でもPD患者を看護する際のガイドライン作成が行われている。経験豊富な看護師が行う看護実践を今後、より具体的に明らかにして看護の専門性を高めること、それらを他の看護師も広く共有し実践していくことが患者の快適な療養生活を支えるために必要だと考えられた。}とまとめられている。

PD患者との20年近くの交流の中で、大変な疾患だということを改めて感じていたところです。どの疾患についても言えることですが、当事者としては専門性を求めます。個々によって、日によって、時間によって、季節によって、また気分によって刻々と変化するPD患者を前に一定水準の看護を提供することは大変なことだと理解しますが、どんな時も患者と一緒に考えるという謙虚さで接することが大切だと考えます。

看護だけではなく介護に携わる人にも言えることだと思います。

より良い療養生活を送っていただくためにはどうすればいいのか考え続けたいと思います。

お知らせ

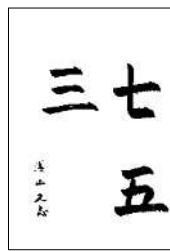


「卓球クラブ」12月練習日

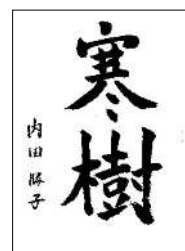
場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット

12月7日(火) 21日(火)

連絡先 (280-6931)



朝山久志氏



内田勝子氏



中谷紀子氏

パーキンソン病友の会
兵庫県支部姫路ブロック

*12月患者・家族交流会
県の交流会に参加するのでお休みします。

*1月患者・家族交流会

・1月16日(日)

・新年会を予定しています。

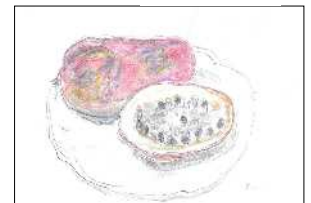
歌とゲームで楽しい時間を！！

・会費・時間は後日連絡します。

・要申し込み (280-6931)



後藤玲子氏



芹沢登代子氏



田中千満氏



福江弘子氏

姫路ブロック患者家族交流会に初めて参加しました。いつも一人で家にいる事が多く孤独を感じますが、会に参加してたくさんの方とお話すると私は一人じゃないんだ！仲間がたくさんいてくれる！！明るく前向きに進もうという気持ちになれました。同行してくれた主人も病気の理解を深めてくれたようで嬉しかったです。